



## Pride of KOKUSAI

### 新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ようこそ寒川高校へ。

一日も早く高校生活や、寮生活に慣れ、勉強や部活動に、集中できるようにしていきましょう。さらに、国際教養コースの生徒のほとんどが、初めて親元を離れ、寮生活を送っていきます。先輩や先生のサポートを受けながら、また、同学年同士助け合いながら、しっかりと自律心（自立心）を養っていきましょう。

#### 国際教養コースの Visions

上記の「PRIDE OF KOKUSAI」は国際コースのキャッチフレーズです。また、スローガンとして、POSITIVE THINKING（肯定的思考）、ORGANIZE YOURSELF（自己管理）KNOWLEDGE MANAGEMENT(情報処理)を掲げています。私たち教員は、この3点を大きな成長の柱とし、将来、多様な場面で社会貢献し、大きな舞台で活躍できる人材に育ててほしいと考えています。



### 各クラス紹介と本年度の目標

#### 1A4 『昨日の俺より強くなる』

担任：溝渕 祐貴（理科）

副担任：岡田 勝（地歴公民）

#### 2A4 『OVERCOME』

担任：野島 和樹（地歴公民）

副担任：後藤 まみ（国語）

「本年度から、国際教養コースに着任しました後藤です。専門は文芸（小論文）です。長い人生と、チューターとしての経験を活かし、皆さんのサポートをします。楽しく、真面目に一緒に頑張っていきましょう」

#### 3A4 『凡事徹底』

担任：末廣 浩暉（保健体育）

副担任：吉本 真実（数学）

「同じく、着任しました吉本です。久しぶりに寒川高校に帰ってきました。少しでも数学が好きになって欲しいと思います。また、何事にも一生懸命取り組み、充実した高校生活にしましょう。」

### 最新 コラム紹介

#### 【大人の階段】

今月から成人年齢が引き下げられ「大人とは何か」を考える機会が増えた。聞こえてくるのは、親の同意がなくてもローンや携帯電話の契約ができるから気を付けましょね、といった自覚を促すアドバイスだ。つまり大人の責任とは何かということだろう

▶早速、改正少年法の「特定少年」として殺人などの罪で19歳の男を起訴し、初めて氏名を公表した事案もあった。それもこれも大事な知識だが、まったく違う角度から大人の階段を上ってみるのもどうかと思う。お薦めしたいのが英文学者、外山滋比古さんのエッセー「人に聞けない 大人の言葉づかい」だ

▶人は生身の顔のほかに言葉の顔を持っていると外山さんはいう。子供の言葉は教えられたもの、まねしたものが大人の言葉は違う。生活や経験が映し出され、それは心の顔になっていく。実は大人のための本だが、大人になると読むならもったいい。随分大人になってから読んだ小欄の自戒を込めて。

#### 【いま、できることを】

ロシアの軍事侵攻が続くウクライナでは、国民の1割に当たる421万人が国外避難。日本にも400人以上が入国したという。企業や自治体による就労機会や住宅提供などの支援が進められているが、避難生活が少しでも安心して快適なものになれば、と切に願う

▶ウクライナの公用語はスラブ語派のウクライナ語で、キリル文字の一種が用いられる。日本人にとっては習得が難しい部類だが、米語学学習アプリ「デュオリンゴ」では、ロシアのウクライナ侵攻以来、ウクライナ語を学ぶ人が世界全体で約5倍、ポーランドでは1.8倍増えたという

▶どの言語をどのように使うかには、個人のアイデンティティーや所属するコミュニティを持つ歴史、文化などが大きく関わる。デュオリンゴは、ウクライナ語学習者の増加は単に関心が高まったためではなく、「団結を示す行動ですらあるかもしれない」と指摘する。私たちにも、できることはたくさんある。